

CHleru

チエル株式会社

(銘柄コード 3933)

2021年3月期
決算説明資料

2021年 5月

Chapter **01** 会社概要 . . . P.03

Chapter **02** 2021年3月期 業績報告 . . . P. 06

Chapter **03** 2022年3月期 業績予想 . . . P.16

Chapter **04** 2022年3月期 施策 . . . P.24

参考資料 . . . P.31

Chapter **01**

会社概要

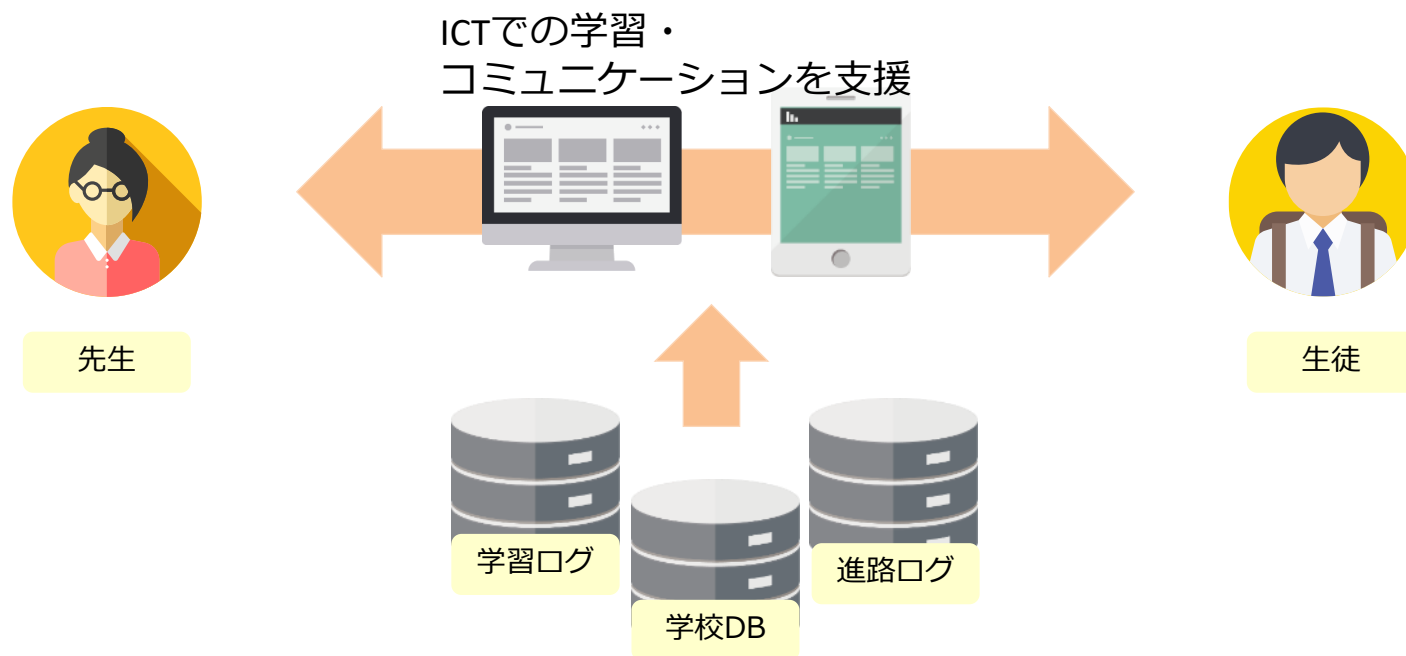
会社名	チエル株式会社
代表者	川居 睦
住所	東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー3F
設立	1997年10月1日
資本金	3.36億円
従業員	連結：166名（他臨時34名）、単体：53名（他臨時19名）（2021年3月末時点）
拠点	営業拠点：8営業所（札幌・仙台・首都圏・名古屋・大阪・広島・福岡・沖縄） 子会社：沖縄チエル株式会社、株式会社コラボレーションシステム、株式会社昭栄広報*、株式会社VERSION2 関連会社：株式会社ダイヤ書房、ワンビ株式会社
事業内容	教育ICT事業 <ul style="list-style-type: none"> 教育用ソフトウェア、ネットワークおよびシステムの企画・研究開発、コンサルティング、操作要員・技術要員等の指導者育成 情報通信サービス及び情報提供サービスに関する業務 情報処理機器、電気通信機械器具、事務用機械の製造及び販売 教材、教育機器、文房具の企画、開発及び販売 図書、書籍、雑誌の企画、制作、出版及び販売 労働者派遣業務

*2021年3月、MATOMeru株式会社を株式会社昭栄広報に吸収合併

経営理念

私たちチエルは、
子供たちの未来のために世界中の先生の授業をICTで支えます。

■イメージ図



Chapter **02**

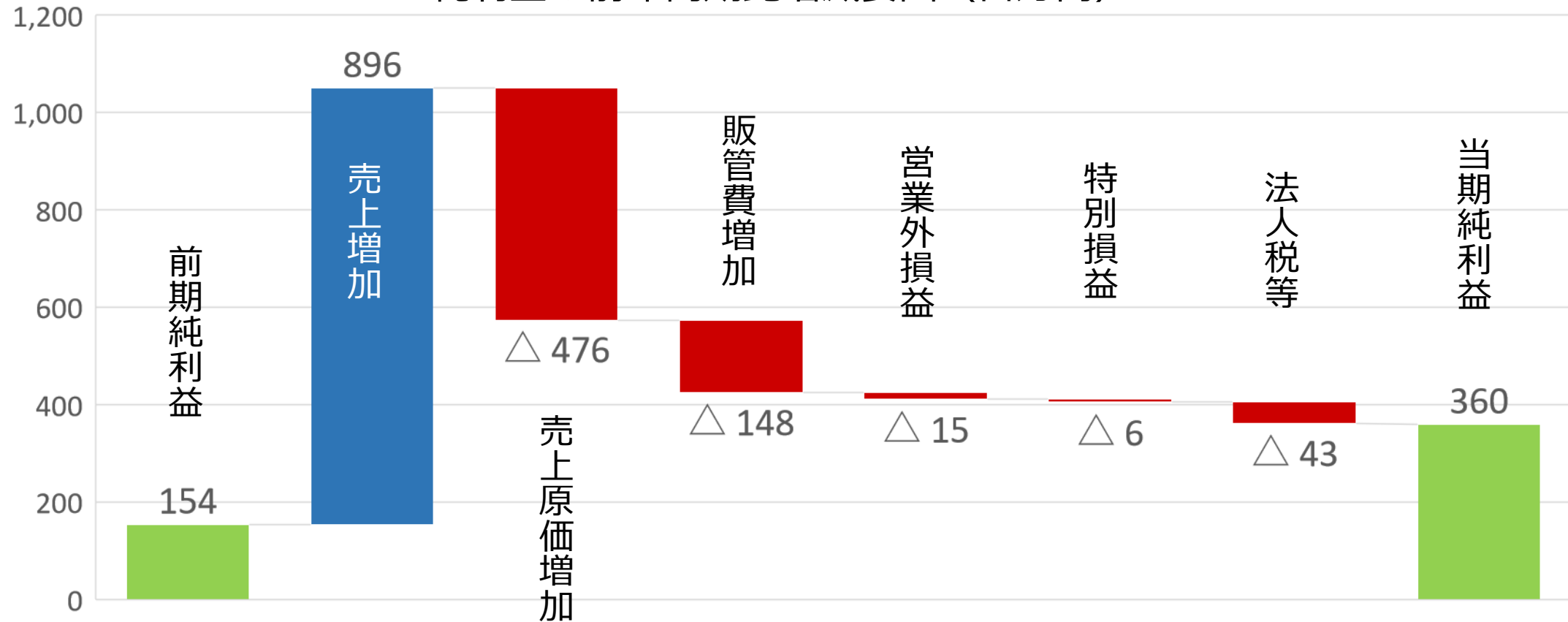
2021年3月期 業績報告

- 売上は、前年同期比+ 28.1%の4,082百万円
- 営業利益は、同+ 112.1%の 513百万円
- 経常利益は、同+ 109.2%の 490百万円
- 当期純利益は、同+ 133.6%の 360百万円

(百万円)	2020年 3月期 (連結)	2021年3月期 (連結)		前年 同期比	前回 予想比
	前年同期	前回予想	実績		
売上高	3,186	4,160	4,082	+896	△77
営業利益	241	500	513	+271	+13
経常利益	234	500	490	+256	△9
純利益	154	350	360	+206	+10

- 純利益増加の主要因は、GIGAスクール構想による売上増
- 当期から昭栄広報が通期連結となることで売上・売上原価・販管費が増加

純利益の前年同期比増減要因（百万円）



- 学習部門は増収減益、進路部門と情報基盤部門は増収増益
- 進路部門は通期連結の初年度をプラスで着地

		2020年3月期 (連結)	2021年3月期 (連結)	増減率
		前年同期	実績	
学習部門	売上高	1,178	1,193	+1.3%
	セグメント利益	323	284	△12.3%
進路部門	売上高	893	1,058	+18.6%
	セグメント利益	11	63	+442.1%
情報基盤 部門	売上高	1,115	1,830	+64.1%
	セグメント利益	400	636	+58.9%

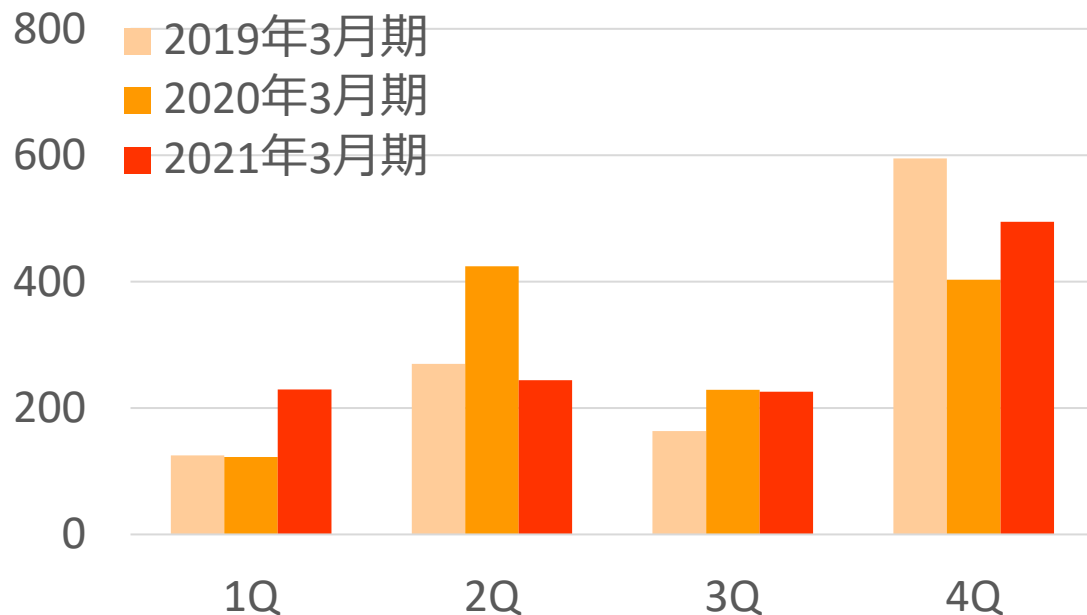
※上記表に調整額（セグメントに配分していない全社費用）は含まれていない

- GIGA案件により受注大幅増も、複数年契約のため当期への売上貢献は限定的
- Chrome関連製品の開発コスト増や、高大の受注先送りもあり利益は前年比マイナス

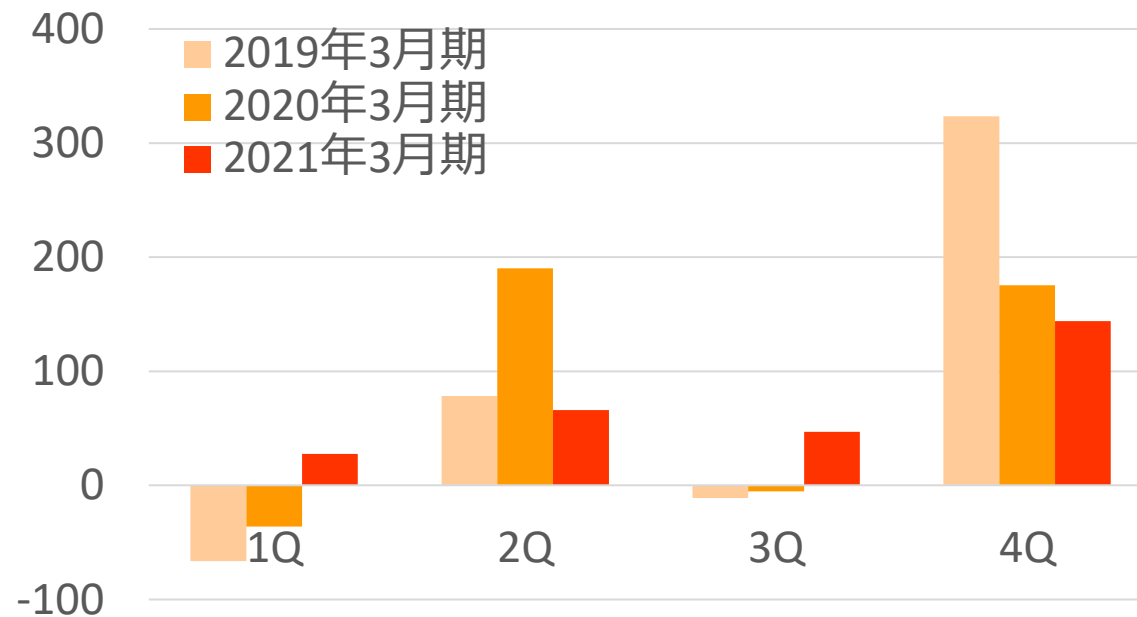
学習部門

四半期ごとの推移（百万円）

売上高



セグメント利益

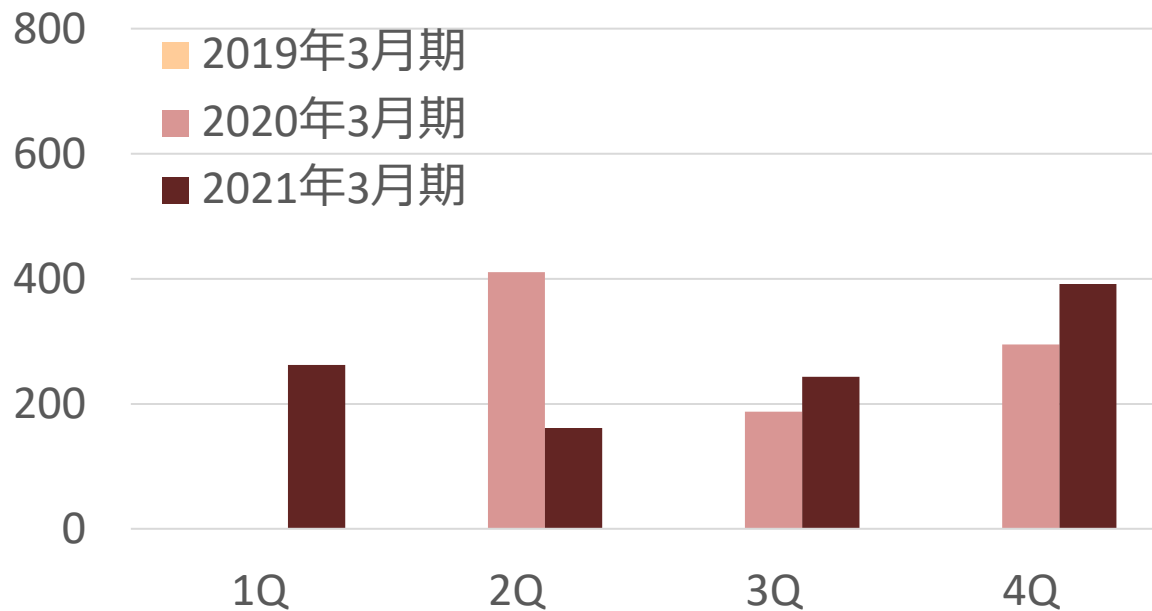


- 一斉休校等の影響で、本来売上の大きい1Q・2Qでは進学相談会が延期され売上大幅減
- 新サービス「高校生のキモチ。」の受注拡大により、通期では黒字で着地

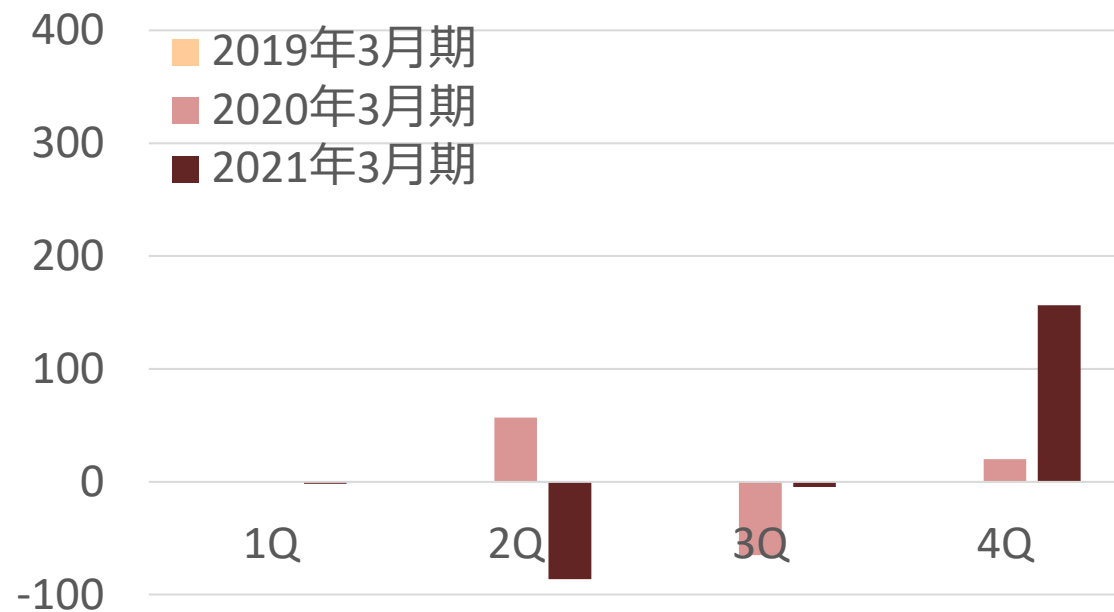
進路部門

四半期ごとの推移（百万円）

売上高



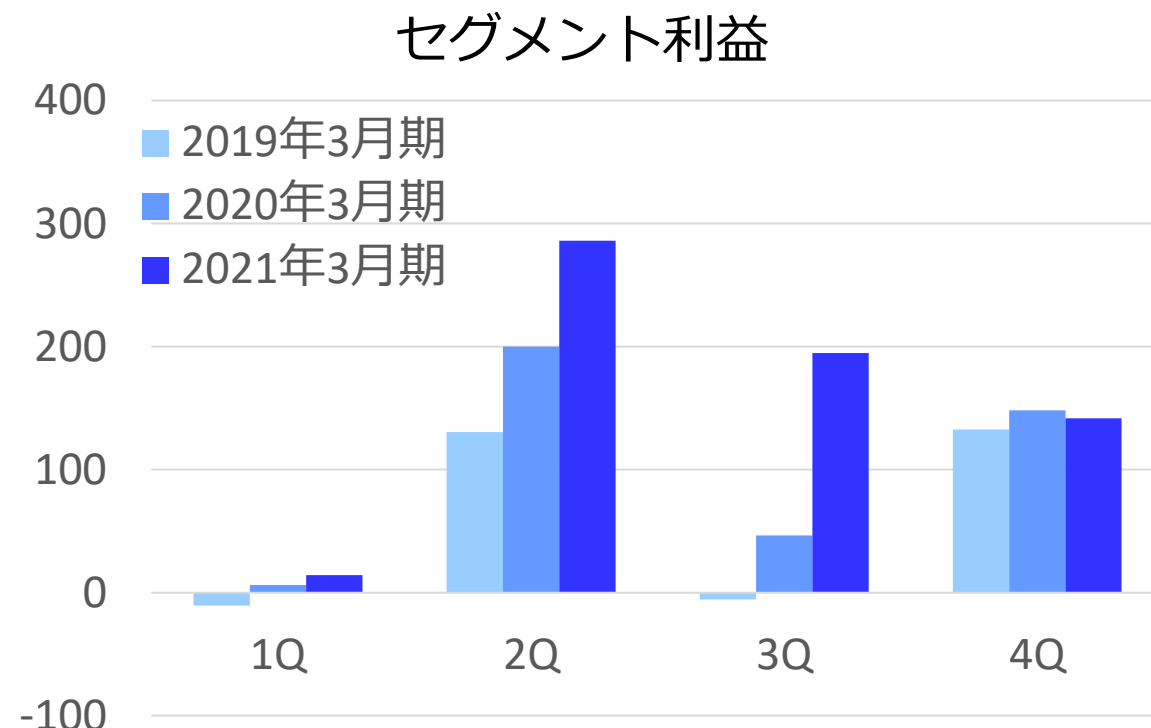
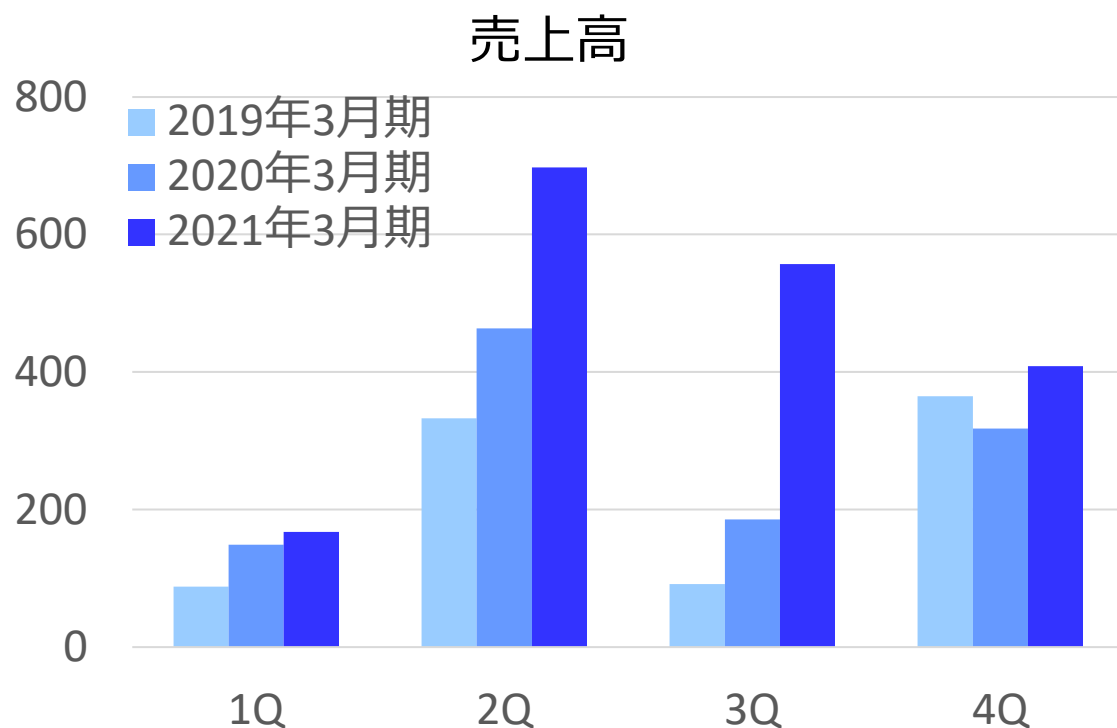
セグメント利益



- GIGAスクール構想のネットワーク整備事業によって、2Qから3Qにかけて『Tbridge』の売上が伸び、前年比プラス

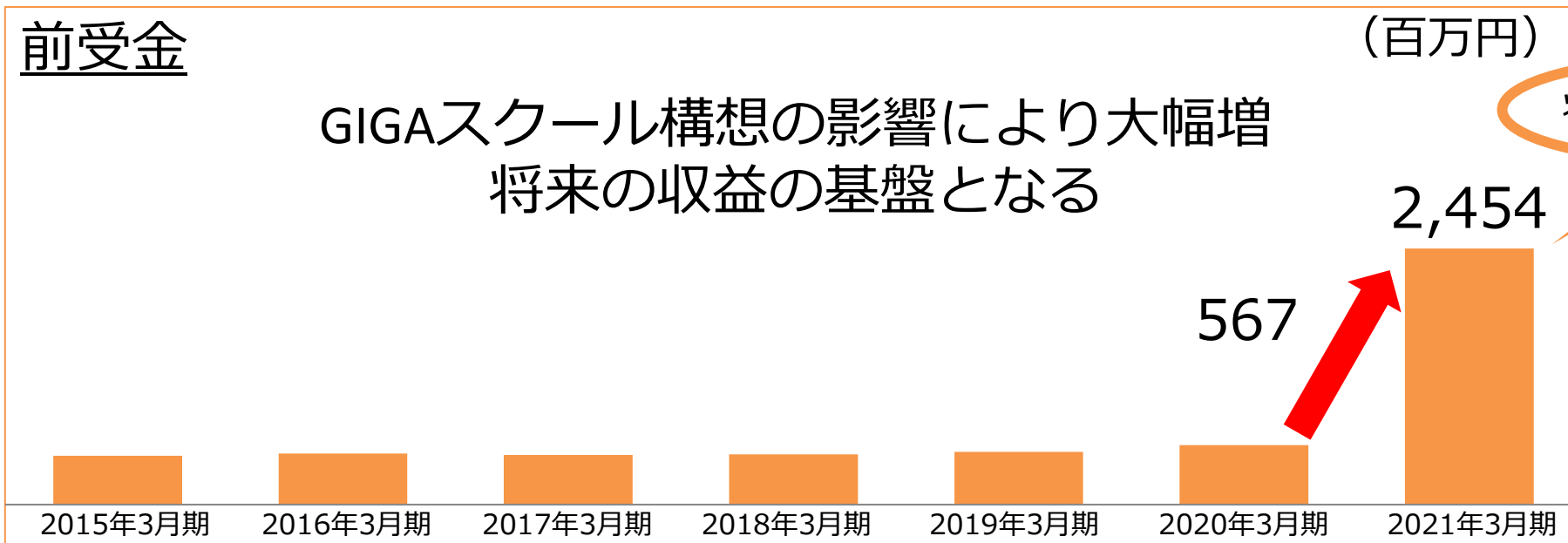
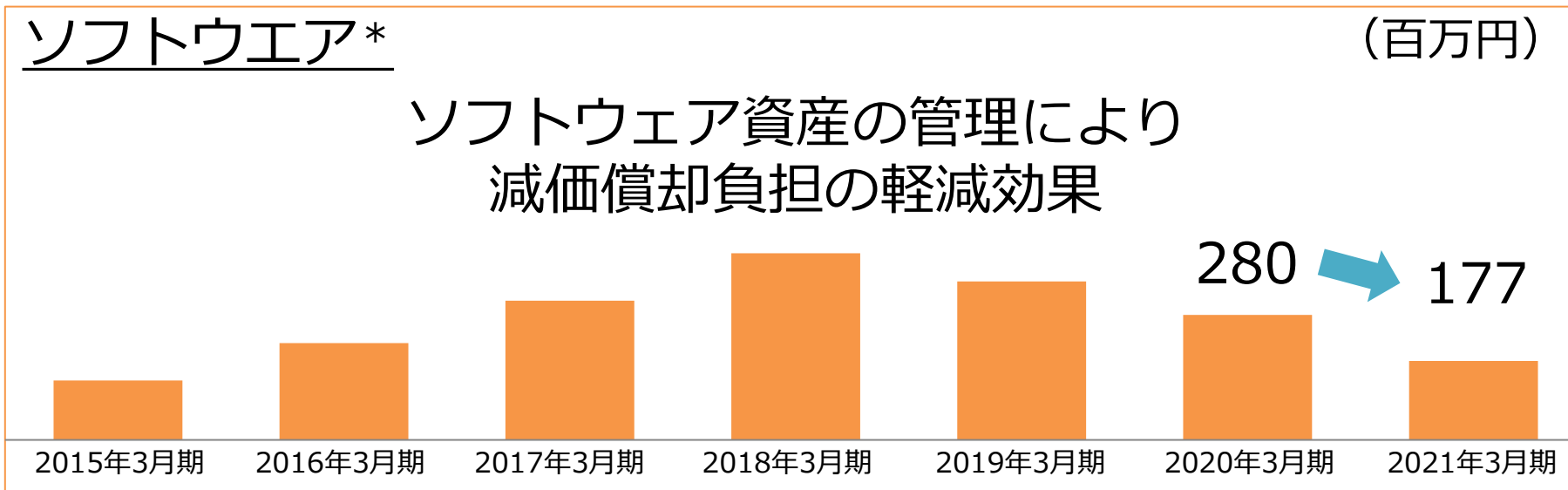
情報基盤部門

四半期ごとの推移（百万円）



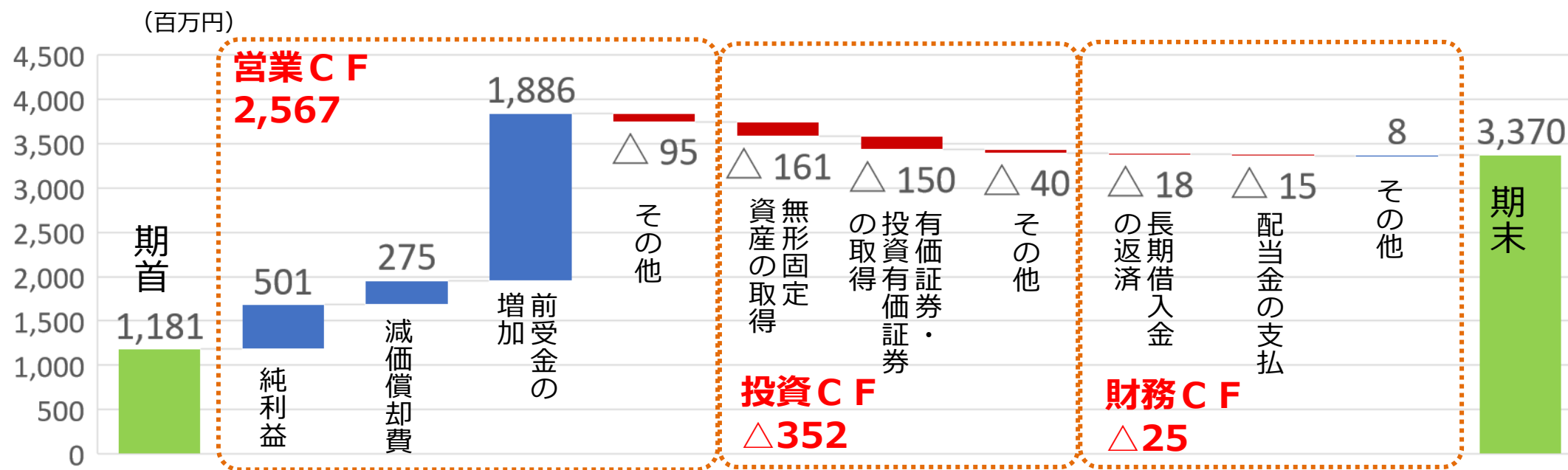
- ・ <資産> 総資産は2,554百万円増加（主要因は現金預金2,188百万円の増加）
- ・ <負債> 負債合計2,183百万円増加（主要因は前受金1,886百万円の増加）
- ・ <純資産> 純資産は 370百万円増加

(百万円)	2020年3月期 (連結)	構成比	2021年3月期 (連結)	構成比	増減額
流動資産	2,097	69.2%	4,699	84.1%	+2,601
固定資産 (無形固定資産)	933 (432)	30.8% (14.3%)	885 (304)	15.9% (5.5%)	△47 (△127)
資産合計	3,031	100.0%	5,585	100.0%	+2,554
流動負債	997	32.9%	3,230	57.8%	+2,232
固定負債	401	13.3%	352	6.3%	△49
負債合計	1,399	46.2%	3,582	64.1%	+2,183
純資産	1,632	53.8%	2,003	35.9%	+370
負債純資産合計	3,031	100.0%	5,585	100.0%	+2,554



*ソフトウェア勘定及びソフトウェア仮勘定の合計を表示しています

(百万円)	2020年3月期	2021年3月期	前年同期比
現金及び現金同等物の期首残高	686	1,181	+494
営業活動によるCF	507	2,567	+2,059
投資活動によるCF	0	△352	△353
財務活動によるCF	△14	△25	△11
現金及び現金同等物の期末残高	1,181	3,370	+2,189



Chapter **03**

2022年3月期 業績予想

【中期経営計画】 新中期経営計画の位置づけ

- 第4次中計（2019-2021）では、GIGAスクール構想等により“顧客基盤を確保”
- 第5次中期経営計画は、第4次の実績を活かし、中長期的な成長をめざす



- 多くの企業でITツールが普通に使われているように、学校でもITツールが使われる。



- 多くの仕事を手書き
- 紙で書類保存
- 電話でやりとり



- 多くの仕事がパソコン作業
- オフィスツールで書類作成
- サーバーにデータ保存
- オンライン会議システム活用

紙とペンが基本／デジタルは一部

コンピュータで出来ることはコンピュータで

コンピュータを使うことが
“普通になる”

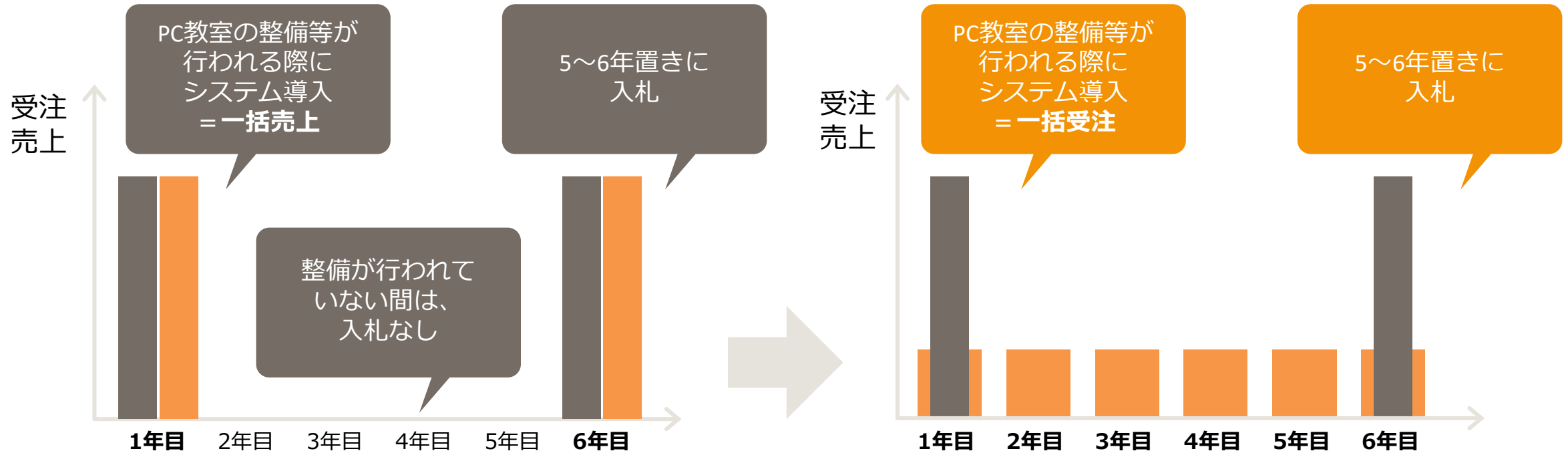


- ほとんどが手書き
- 紙／ノートと活用
- 保護者とはプリント等でやりとり



- 多くの授業でコンピュータを活用
- クラウドサービスを標準で活用
- コンピュータで効果的に協働学習

- 収益モデルが変わり、より安定的な売上を見込む



凡例 ■ 受注 ■ 売上

- 安定的な売上が見込まれる
- ユーザー数増加が中長期的な成長のカギに
- サブスク型ではない製品群の資産評価減
- 継続的な開発・機能追加により囲い込み

小学校・中学校



- 1人1台環境が整備済みであり、活用が進む
- ICT活用には自治体間の差がある
- 今後も臨時休業となる可能性がある
- 活用が進むことで改めてネットワーク回線が問題になる可能性がある

大学・専門学校



- BYODが前提の環境整備が進む
- 大学での端末・ソフトウェア整備は、“専門性”が高い講義用に限定される
- オンライン授業に関連する整備が進み、強固な通信環境が求められる

高等学校



- 1人1台環境整備には差があり、本年度中に整備が進むと想定される
- 資格試験等への対応は学校で行われることも多く、教材等のニーズがある
- 小学校・中学校と同様今後も臨時休業となる可能性があるとともに、ネットワーク回線が問題となる可能性がある

企業



- テレワークが求められ、安心・安全にテレワークができる環境作りが必要となる
- 学びが多様化し、学びを管理するツールやオンラインで学ぶツールのニーズが高まる

基本方針

「質の高い教育をみんなに」提供すべく、更なる技術開発や企業連携を行う

数値計画（億円）

	2020年度 (実績)	→	2023年度
売上高	40.8	1.4倍	60.0 以上
経常利益	4.9	1.6倍	8.0 以上
当期純利益	3.6	1.3倍	5.0 以上

チエルが取り組むSDGs



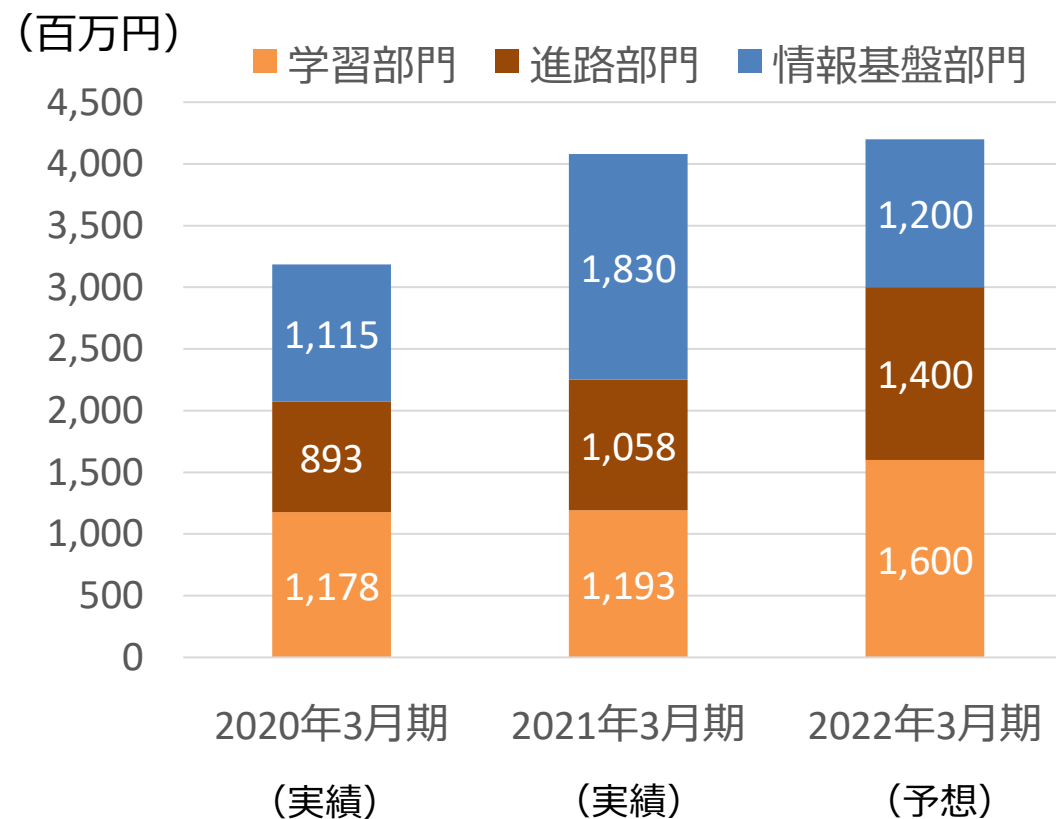
- 昨今の外部環境等を加味し、2022年3月期の通期業績につき、
 売上高は前期比117百万円増の**4,200百万円**、
 営業利益は同6百万円増の**520百万円**、
 経常利益は同29百万円増の**520百万円**、
 当期純利益は**360百万円**を見込む

(百万円)	(参考) 2021年3月期 (連結)	2022年3月期 (連結) 業績予想	増減額	増減率
売上高	4,082	4,200	+117	+2.9%
営業利益	513	520	+6	+1.3%
経常利益	490	520	+29	+6.0%
純利益	360	360	—	—

2022年3月期通期 セグメント別業績予想

- 学習部門は、2021年3月期受注分の前受金が売上に振り替わり、売上高は前年比34%増と予想。
- 進路部門は、2021年3月期に比してコロナ禍の影響は受けづらいと想定*し、前年比32%増と予想。
- 情報基盤部門は、2021年3月期の業績を特需と捉え、2020年3月期実績をベースに微増を予想。

(百万円)	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	増減率
	実績	実績	予想	
学習部門	1,178	1,193	1,600	+ 34.1%
進路部門	893	1,058	1,400	+ 32.3%
情報基盤部門	1,115	1,830	1,200	△34.4%



Chapter **04**

2022年3月期 施策

中期経営計画初年度として掲げた経営戦略を確実に実行する

事業戦略 1

顧客基盤をベースとしたICT活用支援と社内外の技術活用による基盤拡大

学習部門

顧客基盤を活かすとともに様々な企業と連携することで利活用を促進

進路部門

高校生に入学時から寄り添い、最適な進路を見つける支援を行う

情報基盤部門

情報基盤の構築から保守・運用までを支援

事業戦略 2

新たな事業領域における成長機会の獲得

事業戦略 3

ESGを軸とした経営基盤の強化

事業戦略1

顧客基盤をベースとしたICT活用支援と社内外の技術活用による基盤拡大

学習部門

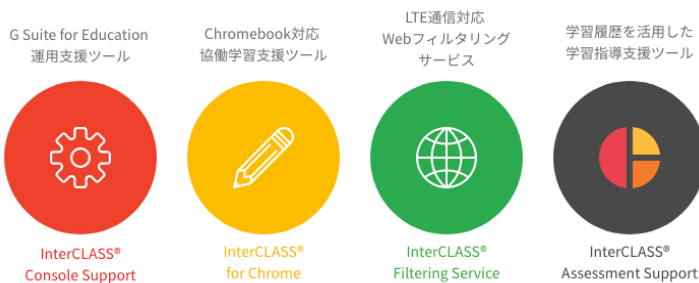
顧客基盤を活かすとともに様々な企業と連携することで利活用を促進

本年度の取り組み

＜小学校・中学校＞

- ✓ 1人1台端末の活用を促進する取り組みを継続的に実施。ユーザー数/平均導入製品数を増やす

『Chromebook活用パック』



- ✓ 既存顧客への複数製品導入提案
- ✓ Chromebookの活用を進める教育委員会へ新規提案

＜高等学校＞

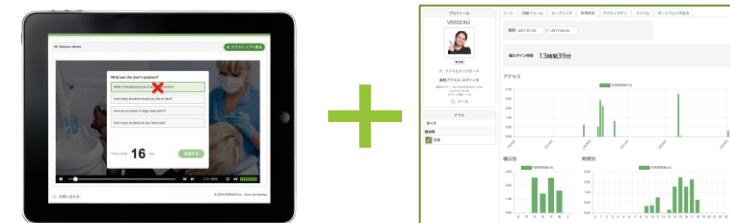
- ✓ アダプティブラーニングが可能な資格対策教材を拡販促進
- ✓ CaLabo各製品とともに拡販推進

TOEIC対策教材 『トイテイク』



＜大学＞

- ✓ 『CaLabo EX』導入校に向け、『CaLabo MX』や『CaLabo Online』を拡販
- ✓ Glexa導入校に向けて、ポートフォリオオプションの拡販を進め、LMS+ポートフォリオで更なる価値を提供する



事業戦略1

顧客基盤をベースとしたICT活用支援と社内外の技術活用による基盤拡大

進路部門

高校生に入学時から寄り添い、最適な進路を見つける支援を行う

本年度の取り組み

<高等学校>

- ✓ 進路情報サイト『高校生のキモチ。』を弊社のデジタル企画商品の中核と位置づけ機能拡充
- ✓ 進路情報サイトと連携し、進学相談会のデジタル化を促進



進学相談会

<デジタル化推進>

連携



進路情報サイト

<機能拡充>

<大学・専門学校>

- ✓ 事例も含めた製品紹介を行うため『SHOEI MAGAZINE』を発行
- ✓ 昭栄広報とチエルが連携し、専門学校に向けたICT環境整備支援を促進



**SHOEI
MAGAZINE**



ICT環境整備

事業戦略1

顧客基盤をベースとしたICT活用支援と社内外の技術活用による基盤拡大

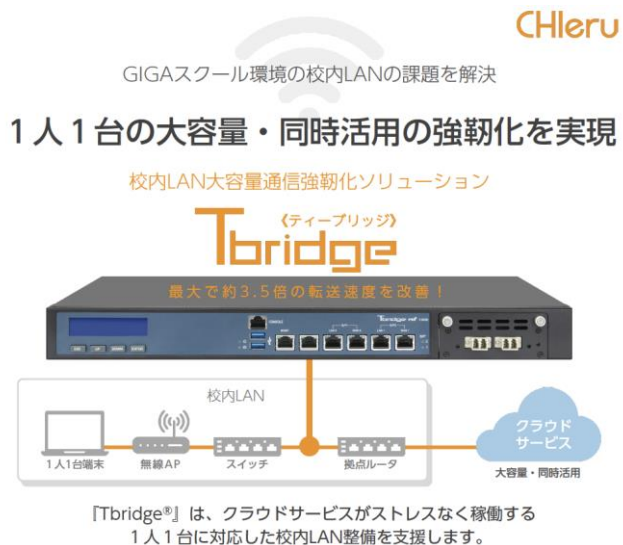
情報基盤部門

情報基盤の構築から保守・運用までを支援

本年度の取り組み

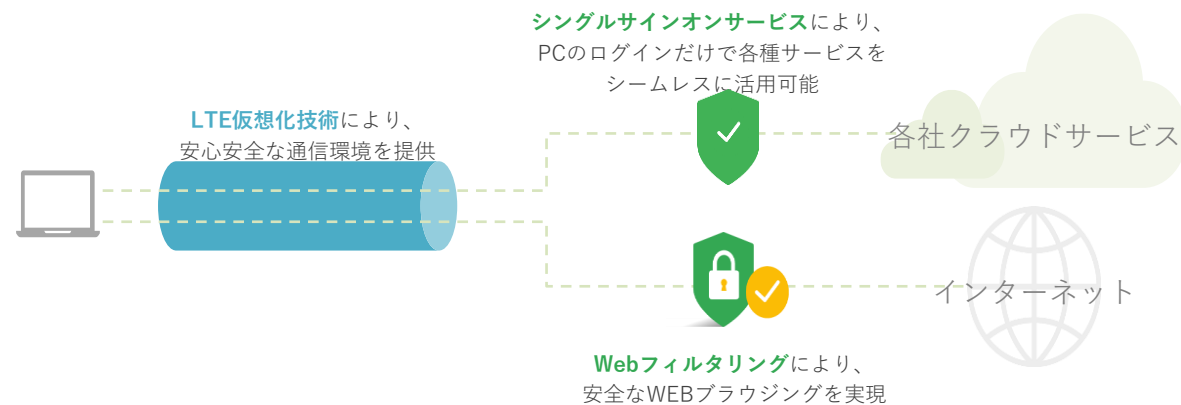
＜小学校・中学校＞

- ✓ GIGA端末活用にあたって通信環境が課題となる学校にむけ、無線LAN環境可視化・安定化システム『Tbridge』を積極的に提案



＜大学＞

- ✓ 『Extra Console Secure Network』を新規に開発・展開し、セキュアな通信環境提供、クラウドサービスへのSSOを可能にする



事業戦略2

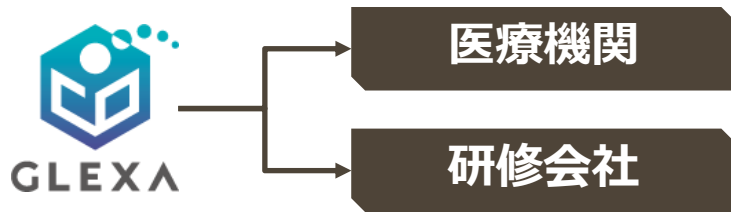
新たな事業領域における成長機会の獲得

本年度の取り組み

- ✓ 業務資本提携を行ったLTE-X社やEDIT社との連携を加速



- ✓ 医療機関等法人向け社内研修用eラーニング市場への参入強化



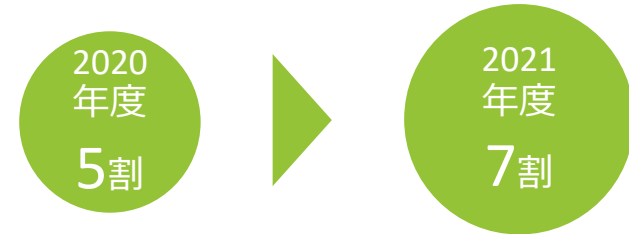
- ✓ YouTubeでの情報発信を積極的に実施

事業戦略3

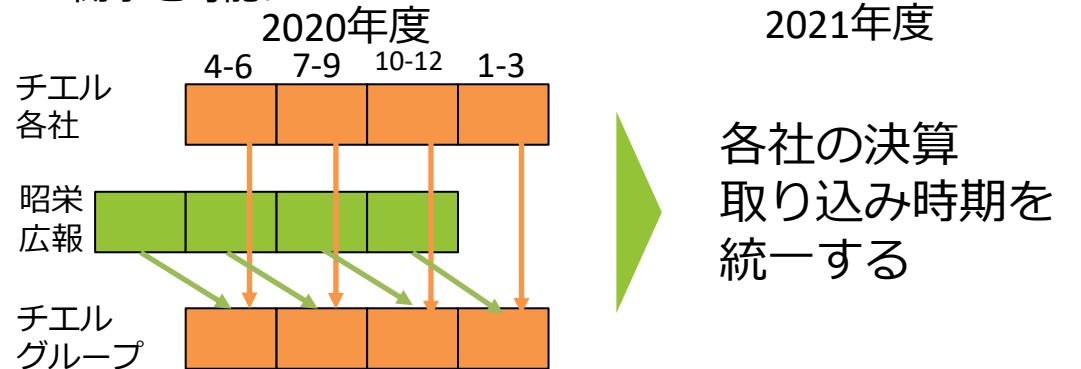
ESGを軸とした経営基盤の強化

本年度の取り組み

- ✓ テレワーク推進により働きやすい環境整備
コミュニケーションツール等を積極活用することでテレワークしやすい環境をつくり、グループ全体のテレワーク率を上げる



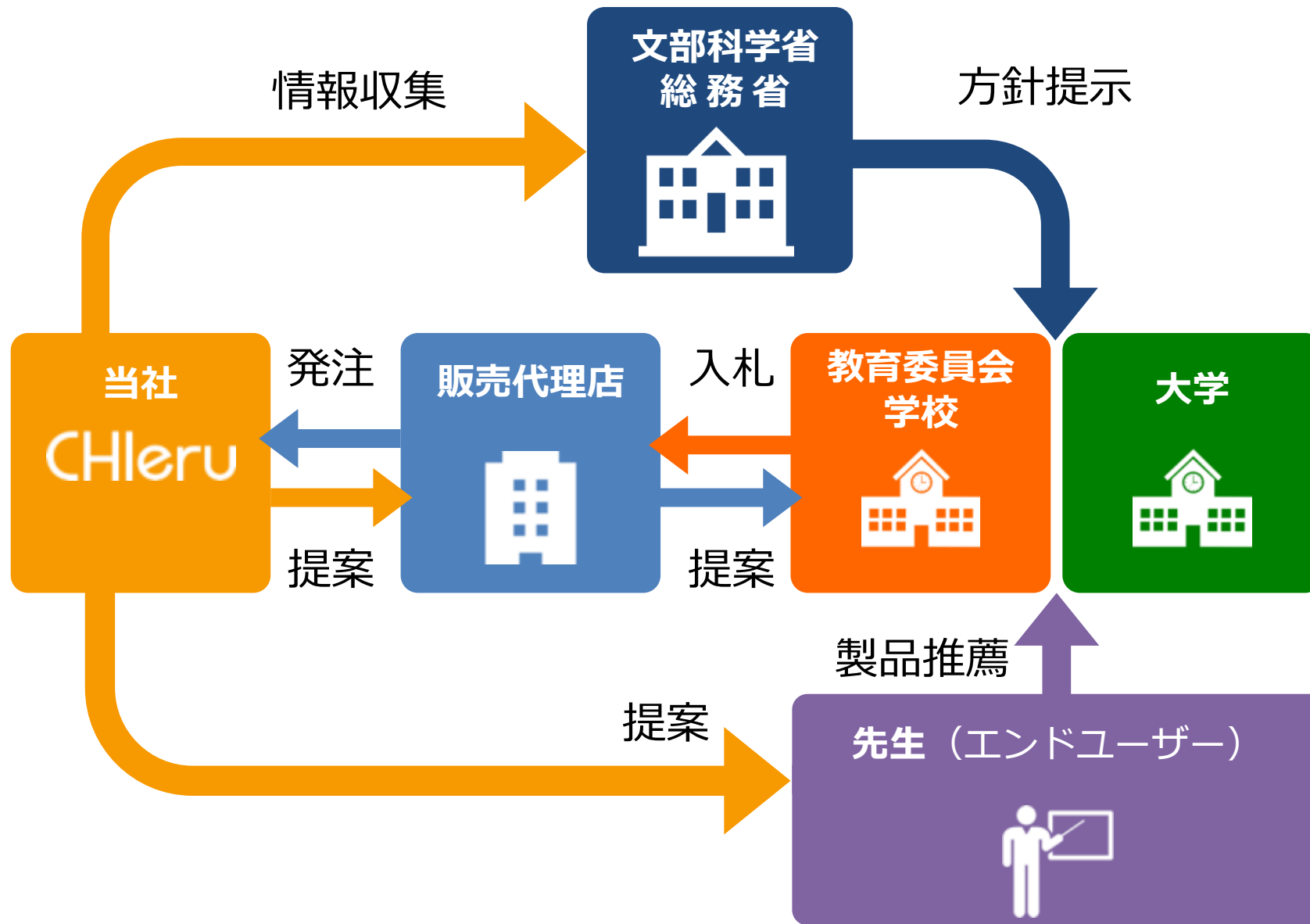
- ✓ グループ内決算業務の効率化
グループ内の決算業務を効率化し、投資家にとってわかりやすい開示を可能に



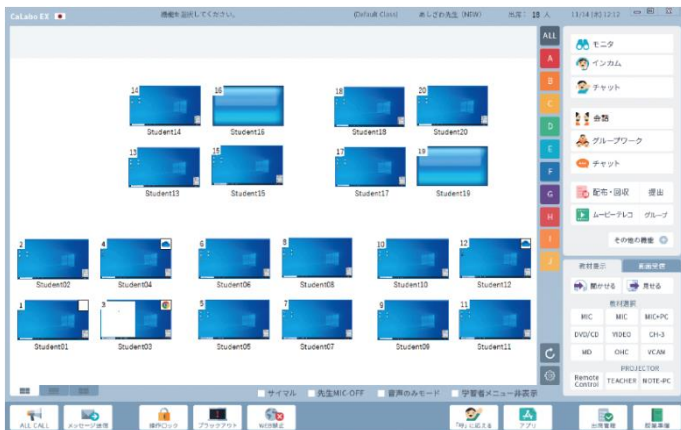
參考資料

創業より一貫して学校教育ICT市場に特化。上場後は、「教育ICT市場」に拡大し成長。

1997年10月	株式会社旺文社の100%子会社として株式会社デジタルインスティテュート設立
2004年4月	学校向けに特化したクラウド型教材配信サービス『CHleru.net』の提供を開始
2006年10月	アルプスシステムインテグレーション株式会社の教育事業部門を統合・社名を チエル株式会社 に変更
2008年2月	高校・大学教育向けのフルデジタルCALLシステム『CaLabo EX Ver.5.0』販売開始
2016年3月	東京証券取引所ジャスダックに株式を上場
2016年7月	100%子会社として沖縄チエル株式会社を設立
2017年3月	株式会社東大英数理教室を子会社化（持株比率100%）
2017年4月	株式会社VERSION2を子会社化（持株比率100%） 株式会社ダイヤ書房と資本・業務提携（持株比率20%）
2017年9月	株式会社コラボレーションシステムを子会社化（持株比率100%）
2017年11月	ワンビ株式会社を持分法適用関連会社化（持株比率48%）
2019年5月	Google for Education™ 技術パートナーの認定を取得
2019年6月	英語4技能学習システム『CaLabo® MX』販売開始 株式会社昭栄広報、株式会社エーアンドシーを子会社化（持株比率100%）
2020年1月	株式会社エーアンドシーを株式会社昭栄広報に吸収合併
2020年3月	「チエル Chromebook 活用パック」販売開始
2020年6月	株式会社東大英数理教室を株式会社MATOMeru株式会社に社名変更
2021年3月	MATOMeru株式会社を株式会社昭栄広報に吸収合併



CaLabo EX



高校・大学CALL教室向けの 授業支援システム

CALL教室のPCを一斉に制御する。語学授業に必要な「モニタ」「インカム」「会話」の他、「ファイル配布・提出」「リモート操作」「操作のロック」等の機能を搭載。

CaLabo Online



リアルタイム授業を補完する オンライン学習支援システム

「Web会議システム+LMS」には足りない、ファイル一斉配布や出席管理、アンケートの実施などの機能を揃え、オンライン授業を側面支援。Microsoft Teamsと連携し、双方向授業をさらに充実させる。

Glexa



マルチデバイス対応の eラーニングシステム

オンライン学習用の教材や問題を作成・管理するLMS※。動画や音声を用いた教材の作成が可能で、「クラス・学生管理」「成績・進捗管理」までシステム内で完結する。
※ラーニング・マネジメント・システム

※クラウド製品



CaLabo MX



クラウドベースの 英語 4 技能学習支援システム

クラウド化により、CALL教室のPCだけでなく、自宅PCやスマホなど様々な端末からの学習と、その進捗把握が可能に。
ディクテーションやシャドーイングなど4技能強化のための機能を取りそろえる。



トイテイク

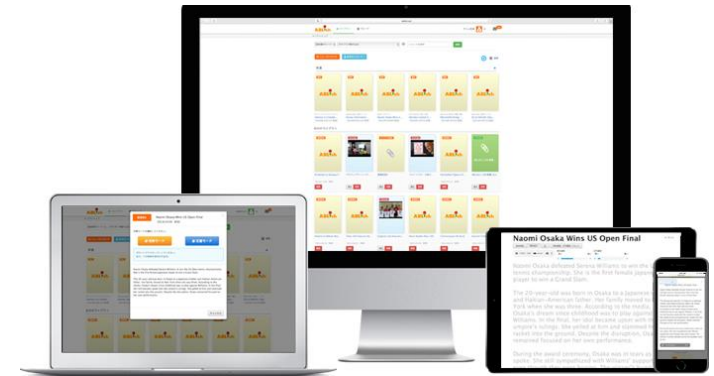


AIを活用したマルチデバイスの TOEIC®対策教材

AIを用いたデータ分析により、ユーザーの英語力に応じたアダプティブな問題を出題。
PC、スマートフォンなどデバイス問わず学習ができ、旺文社のTOEIC対策教材を収録。



ABlish



良質のニュース記事を活用した 語学 4 技能学習システム

週に3回、「読む・聞く」に最適な英語での時事ニュースを配信。
「話す」訓練のシャドーイングに適切な文章量を提供しており、記事を使った「書く」課題の提出機能も実装している。

※クラウド製品

InterCLASS Cloud



Chromebook対応 協働学習支援ツール

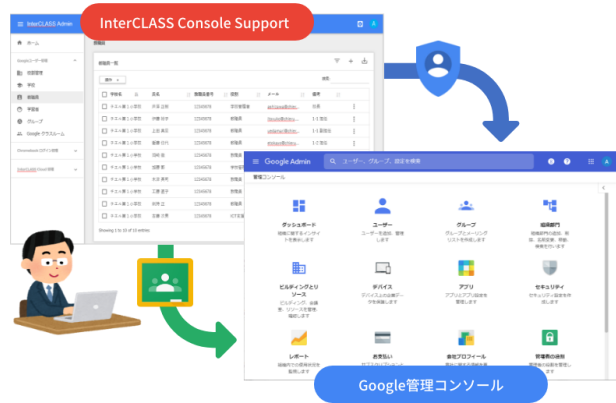
教師用端末から児童・生徒用端末に対し

- ・教材・課題の一斉配布
- ・インターネット制御
- ・画面共有・制御

等を行うことができる。

InterCLASS Console Support

国内の学校現場にあわせて、Google for Education™の管理を効率化 /



Google管理コンソールの 運用支援ツール

G Suite for Educationのアカウント管理を効率化。

- ・ユーザー・グループの一括管理
- ・簡便なクラス設定
- ・QRコードログイン機能

等を実装。

基礎・基本習得パック



シンプルで簡単に扱える クラウド型デジタル教材

好評なデジタル教材をパック化

- ・フラッシュ英単語／英語表現
- ・小学校のフラッシュ基礎・基本（国算理社音図体家）
- ・基礎・基本 計算検定
- ・基礎・基本 国語検定

※クラウド製品

Tbridge

無線LAN最適化ソリューション

ディーブリッジ
Tbridge®



無線LANネットワークを最適化するソリューション

安定的な無線LAN運用のため

- ・パケットロス、遅延等の問題点を改善し転送速度アップ
- ・トラフィック分析・制御により特定端末による帯域幅独占防止
- ・混雑制御、フロー制御に対応しネットワークを最適化等の機能を提供。

Winkeeper

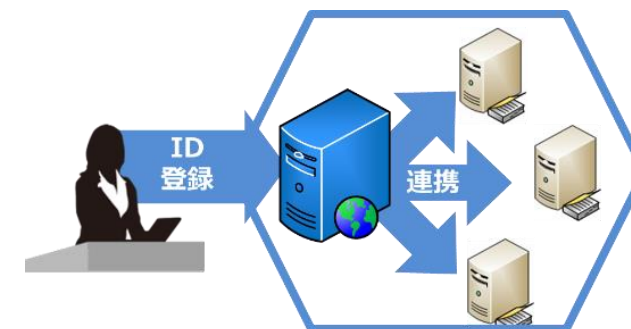


安定した運用管理を実現するシステムリカバリソフト

端末にインストールすることで

- ・ドライブ・フォルダ保護機能
- ・インターネットアクセス制限
- ・レジストリ情報の復元
- ・WiFi接続制限機能
- ・リモート管理中のロック機能等の安全なICT環境の構築を支援。

ExtraConsole



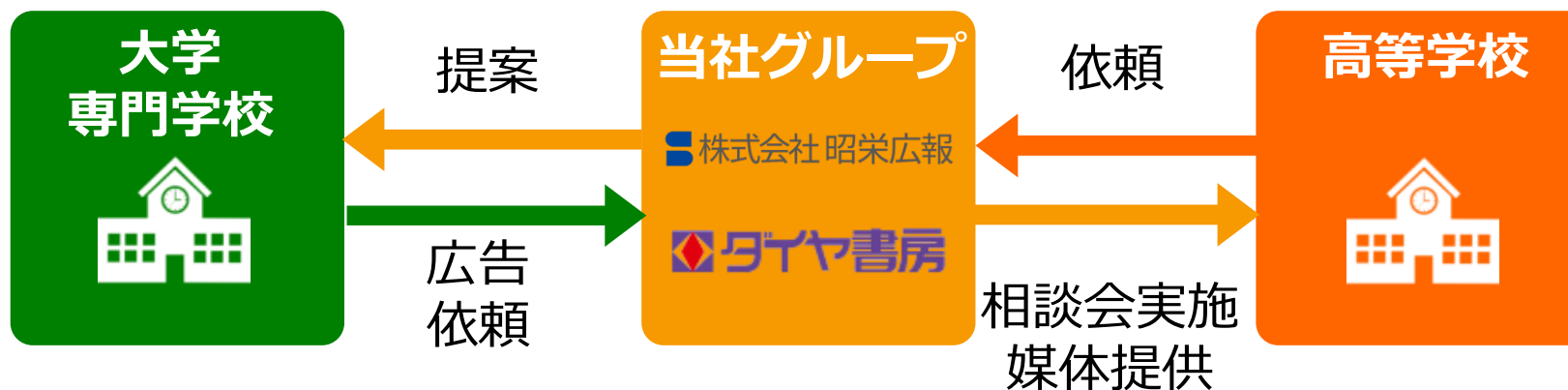
大学の複数システムのIDや様々な機器の一元管理ツール

【ICT Manager】

- ・学内PCの利用状況把握
- ・ソフトウェア状況確認

【ID Manager】

- ・IDパスワードの一括処理
- ・IDパスワードの一元管理



①進学相談会の実施



学校またはイベント会場で
年間**1,000件**を超す相談会を開催。

②媒体の運営・提供



全国**3,000校**に配布する情報誌や
Web媒体によって進路情報を提供。

区分	学校数 (校)		児童生徒・学生数 (人)		教員数 (人)	
	2020	2019	2020	2019	2020	2019
小学校	19,525	19,738	6,300,693	6,368,545	422,554	421,936
中学校	10,142	10,222	3,211,219	3,218,115	246,814	246,835
義務教育学校	126	94	49,677	40,747	4,486	3,519
高等学校	4,874	4,887	3,092,064	3,168,626	229,245	231,342
中等教育学校	56	54	32,426	32,153	2,683	2,642
大学	795	786	2,915,605	2,918,708	189,599	187,876
短期大学	323	326	107,596	113,008	7,211	7,440
高等専門学校	57	57	56,974	57,121	4,114	4,169
専修学校	3,115	3,138	661,174	659,739	40,824	41,104

出所：文部科学省「学校基本調査」 各年度5月1日現在

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。
- Google for Education、G Suite for Education、Chromebookは Google LLC の商標です。その他、記載されている会社名および商品名は各社の商標もしくは登録商標です。
- 本書は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込み又は買付けの申込みの勧誘（以下「勧誘行為」という。）を構成するものでも、勧誘行為を行うためのものでもなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。

CHleru

チエル 株式会社

本資料ならびにIR関係の
お問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

チエル株式会社

IR担当

TEL:03-6712-9721

FAX:03-6712-9461

<https://www.chieru.co.jp/>